

第1編 法人全体の部

1 中期事業計画の推進

「中期事業計画」は、令和元年度から5年間に解決すべき課題等を明らかにした上で、事業運営に取り組むため策定したものです。令和3年度は、引き続き4つの基本方針に基づき、個別の事業を実施しました。

① 利用者の人権尊重と福祉サービスの質の向上

利用者一人ひとりの尊厳と人権を尊重し、希望に基づく自立生活を支援するとともに、利用者の安全・安心と満足感に満ちた福祉サービスを提供するよう努めました。

② 地域における公益的取組みと情報発信

地域に開かれた事業経営を目指すため、情報公開を積極的に進めるとともに、公益的な取組を推進するよう努めました。

③ やりがいある職場環境づくりと人材育成

福祉サービスの継続と発展のために、全ての職員が生き活きとやりがいを持って働ける職場環境づくりと人材育成に取り組むよう努めました。

④ コンプライアンスの徹底と公正で透明性高い組織構築

マネジメントについては、コンプライアンスを徹底するとともに、公正かつ透明性の高い組織体制を構築し、健全な財務規律を確立するよう努めました。

2 重点取組の状況

(1) サービスの質の向上と人材育成

職員の資質向上や専門知識の取得、高度な介護技術が求められており、これらの課題を克服するよう、外部団体が主催する研修会等へWEBによる参加を促進（年間延べ77名）するとともに、「社会福祉士」「精神保健福祉士」など利用者の支援に有益な資格の取得を促進するため助成制度を用意。令和3年度の新規取得者はありませんが、これまでに資格取得した職員数は、社会福祉士6名、精神保健福祉士3名。

(2) 権利擁護の徹底

職員に対し人権の擁護及び虐待の防止等に関する研修を行い、常に利用者や保護者に対して人権の擁護及び虐待の防止等に意識を持って支援してきました。

(3) リスクマネジメントの強化

緊急時だけでなく、普段からリスクを前提にした思考や行動ができるよう、職員間で話し合うとともに、訓練を重ねてきました。

■避難訓練・火災訓練等		表中「訓練・備蓄等」の項目で「※」を付したものは「防災棟」に収納
訓練・備蓄等	具 体 的 内 容	実施状況等
○火災避難訓練	・館内放送に従い出火場所から遠い場所へ避難	年6回
○消火訓練	・消防機器取扱事業者の指導による訓練など（4・8月）	年2回
○地震・津波避難訓練	・館内放送の指示に従って決められた場所に避難	月1回
○AED操作訓練	・阿南市消防署の指導による訓練（10・11月）	年2回
○非常食の備蓄 ※	・水、白飯、五目飯、ドライカレー、パン、缶詰等	1,200食分
○非常時の水の備蓄 ※	・飲料水2リットル入りペットボトル	600本
○災害用品の備蓄 ※	・ポータブルトイレ、タオル、毛布、懐中電灯等	非常時使用
○防犯装置	・セコム(株)に警備委託。別に防犯カメラ設置。	防犯カメラ8台設置

<新型コロナウイルス感染防止対策>

■ 新型コロナの感染拡大2年目。引き続き、学園内へのウイルス持ち込みを防ぐとの強い意思のもと、次の取組を実施

- ・職員は「マスクの着用」「手指消毒の徹底」を図るとともに、出勤前には必ず検温を行い、出勤後「健康管理表」への記入を義務付けています。また、職員本人又は同居者が県外へ出かけた場合、或いは、県外から帰省した者と接触した場合、一定期間（概ね1週間）出勤しないよう指導しました。
- ・利用者には、定期的に検温を実施し、37.5度以上の場合は他の利用者から隔離しました。
- ・園舎内の消毒の徹底を図るとともに、窓を定期的にかけて、空気の入替えを行いました。
- ・3密（密閉・密集・密接）を避けるため、外部団体が実施する会議・研修会はWEB方式に切り替えられたことから、学園でもWEBへの対応ができるよう機器を整備。また、淡島祭や運動会など、外部の方も交えた園内でのイベントを中止しました。
- ・職員2名の感染が判明した際には、帰省の中止、通所者の生活介護、短期入所、日中一時の受入れの中止、保護者の面会制限などを実施。
- ・国の感染防止対策支援事業を活用して「衛生用手袋」「除菌用消毒液」など、感染防止に必要な物品を整備。※事業費 158,808円（補助額 73,000円）
- ・重症化リスクが高い障害者施設等における感染者の早期発見のため、国から「抗原簡易キット」の配布を受入れ。※配布数 300セット
- ・感染防止のため支援員室の執務机にアクリルパーテーションを設置。※事業費 221,760円（一般財源）
- ・新型コロナワクチンの接種状況は、5月20日の第1回目接種から、令和4年3月23日の第3回目の接種終了まで、入所・通所の利用者及び職員のほとんどが接種を完了。（入院中や保護者の意向で接種しない者など5名を除く）

■ 職員2名が感染した際の対応について（上記以外）

- ・令和4年2月4日に職員1名の感染が判明。6日には濃厚接触者のうち職員1名の陽性判明。これを受けて全職員のPCR検査を実施し、陰性を確認。
- ・入所者については、日中の作業等での見守りに替えて居住棟において生活支援を実施。
- ・感染が沈静化した8日から、利用者の出入りが多い場所を重点的に消毒・清掃を実施。学園の所有車も入念に消毒・清掃を行った。

- ・感染者が発生した施設に対する国の助成制度（サービス継続支援事業）を活用し、「除菌用消毒液」「衛生用手袋」「フェイスシールド」「防護エプロン」など、感染防止に必要な物品を整備。

※事業費 395,223円（補助額 395,000円）

(4) 財政状況の安定化

上質なサービスを安定的に提供するためには、財政基盤の安定が不可欠です。そのためには、常に無駄な支出を減らすとともに、事業活動収入の約8割を占める「生活介護」「施設入所支援」などの介護給付費に係る利用率向上による収入増を目指しました。

※通所者については担任職員がこまめに状態確認をすること、施設入所者については日頃の健康管理に努めることなど

(5) 施設・設備の整備

現在地への新築移転から18年が経過し、施設の修繕や設備の更新が必要となっていることから、社会福祉充実残額を活用するなどして、施設の改修等を行うとともに、器具及び備品の整備を進めてきました。

金額欄に「※」がついているものが、社会福祉充実計画に基づき整備した施設・設備等

■施設・設備等の整備状況		金額欄に「※」がついているものが、社会福祉充実計画に基づき整備した施設・設備等			
No	施設・設備等の整備箇所等	整備の状況			
		取得時期	整備の内容	金額(千円)	業者名
1	食器洗浄機の修繕	令和3年 04月07日	・ 厨房に設置した食器洗浄機のポンプが故障したため取替	167	厨房機器サービスキムラ 木村雅美
2	灯油タンクの注入ボックス取換工事	令和3年 04月30日	・ 灯油貯蔵のタンクの注入ボックスの老朽化に伴う取替	253	(株)富永製作所
3	車いす搭載型自動車の購入	令和3年 06月30日	・ JKAの補助を受け、通院用として車いす登載可能な自動車を購入	3,299	トヨタカローラ徳島(株)
4	インターネット環境の改善工事	令和3年 07月12日	・ WIFIの情報処理容量不足を補うための設備を増設	210	(株)金剛
5	グリーストラップ配管路洗浄・調査工事	令和3年 07月27日	・ 汚水桝の沈下に伴う通路の段差を解消するための事前調査と洗浄を実施	132	清水建設(株)
6	ワイヤレスアンプセットの購入	令和3年 09月10日	・ 同時に複数マイクが使用できるワイヤレスアンプセットを購入(65周年記念事業)	343	(有)タニモトデンキ
7	グリーストラップ周囲他修繕工事	令和3年 09月24日	・ 汚水桝の沈下に伴う通路の段差を解消するための修繕工事	748	清水建設(株)
8	テント購入	令和3年 10月06日	・ 屋外での行事の際に使用するテントを購入(65周年記念事業)	162	(有)フジシマススポーツ
9	居住棟居室の壁紙貼替工事	令和3年 10月15日	・ 居室壁紙の経年劣化による汚れや傷みを解消するための貼替工事	※ 958	ナカノ内装 中野聡一郎
10	居住棟居室のふすま貼替工事	令和3年 10月15日	・ 和室ふすまの経年劣化による汚れや傷みを解消するための貼替工事	※ 193	ナカノ内装 中野聡一郎
11	アクリルパーテーション購入	令和4年 02月15日	・ 支援員室の執務机に感染防止用アクリルパーテーションを設置するため購入	222	(株)金剛
12	居住棟男子1階廊下の壁面修繕工事	令和4年 03月14日	・ 廊下壁面に生じた穴や凹みを解消するための修繕工事	116	ナカノ内装 中野聡一郎
13	事務チェア購入	令和4年 03月16日	・ 老朽化した園長室事務チェア更新のため新たに購入	113	(株)金剛

上記のほか、6月に「淡島学園保護者会」様から、施設の利用者が毎日、清潔に生活できるよう、衣類等の洗濯物を大量に洗うことができる「大型洗濯脱水機」をご寄贈いただきました。

(6) 社会貢献活動

自主防犯パトロールとして、1週間に3～4回、地元の富岡・見能林地区を3方面に分け、小・中学校の下校時に合わせて青色防犯パトロール活動を行っています。(3年度は151回、延べ302名従事)

また、淡島海岸で流木や紙、プラスチックなどのごみを拾ったり、日頃、利用者が休憩に立ち寄る東部公園における月1回の清掃活動などの園外活動を実施。さらに、毎月1回、第2土曜の午後、障害の有無に関係なく気軽に茶飲み話をしたり、レクリエーションを楽しむことができる場所を提供する「ほんわかカフェ」を開設し、学園に対する理解を深めていただきました。(1回当たり平均10名程度)

3 会議の開催等

(1) 評議員会の開催

○定時評議員会

開催日	令和3年6月12日(土)
場所等	淡島学園会議室/評議員7名、理事長、監事2名出席
議題	報告事項 令和2年度事業報告の件
	第1号議案 令和2年度計算書類等の承認の件
	第2号議案 理事及び監事の選任の件

(2) 理事会の開催

○第1回理事会

開催日	令和3年3月20日(土)
場所等	淡島学園会議室/理事6名(うち1名はWEB)、監事2名出席
議題	第1号議案 令和2年度第2次補正予算の承認の件
	第2号議案 令和3年度事業計画及び当初予算の承認の件
	第3号議案 役員賠償責任保険契約締結の承認の件

○第2回理事会(決議の省略)

決議日	令和3年4月20日(火)
議題	第1号議案 公益財団法人JK Aの「2021年度競輪公益資金による体育事業及び公益の増進を目的とする事業に関する補助金交付決定」を受諾し、補助事業を実施する件

○第3回理事会

開催日	令和3年5月22日(土)
場所等	淡島学園会議室/理事5名(うち1名はWEB)、監事2名出席
議題	第1号議案 令和2年度事業報告及び計算書類等の承認の件
	第2号議案 定時評議員会で選任する理事及び監事の候補者の件
	第3号議案 定時評議員会の招集の件
	第4号議案 苦情解決要綱に定める第三者委員選考の件

○第4回理事会（招集手続省略）

開催日 令和3年6月12日（土）
 場所等 淡島学園会議室／理事6名（うち1名はWEB）、監事2名出席
 議 題 第1号議案 理事長選定の件
 第2号議案 業務執行理事選定の件

○第5回理事会

開催日 令和3年12月18日（土）
 場所等 淡島学園会議室／理事6名（うち1名はWEB）、監事2名出席
 議 題 第1号議案 令和3年度第1次補正予算の承認の件
 第2号議案 役員賠償責任保険契約締結の承認の件

(3) 監事監査の実施

開催日 令和3年5月17日（月）
 場所等 淡島学園会議室／監事2名出席
 結 果 令和2年度の本部会計、施設会計、短期入所事業会計、相談支援事業会計の執行状況及びこれに伴う関係書類並びに法人、施設の関係書類、また、法人、施設の運営状況の各項目について監査し、適正に執行できていると認められました。

4 法人の役員等の状況

（令和4年3月31日現在）

区分	定数	役員等の氏名（敬称略）	任 期
評議員	7名	松原良明、広瀬淳之、窪田光子、大松谷武司、尾崎正憲、松原和子、内海 剛	令和5年6月の定時評議員会の終結時まで
理 事	6名	三牧スマ子(理事長)、蟻馬 治(業務執行理事)、田中敏彦、阪井俊弘、高谷篤芳(6月12日就任)、岩崎世都子	令和5年6月の定時評議員会の終結時まで
監 事	2名	東野 享、打樋昌之	同 上
評議員選任・解任委員	3名	松崎清治(外部委員)、東野 享(監事)、石橋さよみ(事務局)	令和4年6月の定時評議員会の終結時まで

5 職員の状況

（令和4年3月31日現在）

常勤職員	常勤職員合計 ①								非常勤職員 ②	職員の総数 ①+②
	園長	事務員	サービス管理責任者	生活支援員	看護師	栄養士	相談支援専門員	常勤職員合計 ①		
男	0	1	0	16	0	0	1	18	2	20
女	1	2	1	15	2	1	1	23	5	28
計	1	3	1	31	2	1	2	41	7	48
2年度	1	3	1	30	1	1	2	39	8	47

※複数の職を兼務している職員は、本務の職に計上しています。

6 法人が運営する事業内容

事業所の名称	サービスの種類	指定権者	指定の有効期間	備考
◎ 障害者支援施設 淡島学園	・ 生活介護	・ 徳島県知事	平成29年10月1日から 令和5年9月30日まで	・ 定員80名
	・ 施設入所支援			・ 定員70名
	・ 短期入所支援	・ 徳島県知事	平成30年10月1日から 令和6年9月30日まで	・ 定員2名
	・ 日中一時支援	・ 4市町の長	毎年度更新	・ 定員5名
◎ 相談支援事業 淡島学園	・ 指定特定相談支援	・ 阿南市長	平成30年4月1日から 令和6年3月31日まで	
	・ 指定障害児相談支援			
	・ 指定一般相談支援(地域移行)	・ 徳島県知事	令和31年4月1日から 令和7年3月31日まで	
	・ 指定一般相談支援(地域定着)			

※「日中一時支援」の契約市町：徳島市、小松島市、阿南市、那賀町

<相談支援に係る受託事業>

受託事業の名称	受託した事業の内容	委託先の市町	委託契約の期間	備考
○ 障害支援区分 認定調査業務	阿南市から通知のあった対象者の障害支援区分を認定するために必要な調査を行い報告	・ 阿南市 ・ 小松島市	令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで	
○ 相談支援事業 委託事業	障害者に対する相談支援、住居入居等の支援、成年後見制度の利用支援などを実施	・ 阿南市 ・ 小松島市 ・ 那賀町	令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで	委託契約の相手先は3市町の代表である小松島市
○ 障害者虐待の 防止と対応に 関する支援事業 の委託	障害者虐待を受けた障害者の保護のため、障害者及び養護者に対して行う相談、指導及び助言等の支援など	・ 阿南市 ・ 小松島市 ・ 那賀町	令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで	

1 事業所運営の総括

利用者の自立と社会生活への参加の促進を図り、その育成に必要な支援及び訓練を行いました。

また、利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援を行うことが重要と認識して、利用者及びその家族のニーズを的確にとらえた「個別支援計画」を作成し、適切なサービスが提供できるよう努めました。

さらに、できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、市町村、障害者支援施設、障害福祉サービス事業を行う者、その他保健医療や福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めました。

2 福祉サービスに関する事業所の体制

(1) 人権擁護及び虐待の防止委員会

職員に対し、人権擁護及び虐待の防止に関する研修を行い、常に利用者やその保護者に対し「人権擁護及び虐待防止」等の意識を持って支援するとともに、組織体制を整備しました。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 専従委員 山崎師郎、柏木多恵、森田真由美、原 和男（以上、サービス管理責任者）
板東基史、赤松俊明、高橋和架子、松葉幸子、上田香織（以上、生活支援員）

(2) 苦情解決体制

苦情に対応しその解決を図るため、受付窓口、責任者、第三者委員等を選任するなど、苦情解決体制を整備しました。※令和3年度は4件の苦情がありました。（令和2年度は3件）

- ・ 相談窓口 淡島学園 電話（0884）22-0379/FAX（0884）22-6648
- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 受付担当 山崎師郎、柏木多恵（以上、サービス管理責任者）
- ・ 第三者委員 松原良明（法人評議員）、東野 享（法人監事）

■苦情解決事項		
苦情受付日及び申出人	苦情の内容	学園の苦情への対応状況
① 令和3年7月12日 入所者Aの親	迎えの時間を伝えたのに担当が付き添わず利用者だけが出てきた。帰省時等の対応をきちんとすべき	担任や班職員が留意していたが、利用者本人が窓から迎えの姿を見るなり、走り出いった。今後十分注意したいと謝罪。
② 令和3年7月16日 通所者Bの親	送迎車の中で同乗の通所者に叩かれたと連絡帳に記載あり。暴力から守ってほしいとの要望。	送迎の際、課題のある通所者には支援員が付き添うことで、他害が発生しないようにしたい。心配をかけたことを謝罪。
③ 令和3年7月28日 通所者Cの親	短期入所時に持参していたズボンが他者のものと間違えていた。荷物は間違えないようにしてほしい	洗濯物を仕分けする際、入所者の方に紛れてしまったもの。後日、見つかったので返却して謝罪。
④ 令和3年10月28日 入所者Dの親	膀胱瀧から尿がこぼれて居室床が汚れている。利用者ができない部分の支援をしっかりとしてほしい。	阿南医療センターを受診するも異状なし。今後、支援をこまめにするとともに、居室の汚れは十分清掃する旨説明。

■事故報告										
年度／区分	事 故 の 内 容						事故総数 (左記の計)	ヒヤリハット		
	誤 薬	異 食	転倒等	暴 力	無断外出	その他		(件数)	暴力行為	その他
令和3年度	0	0	8	4	0	1	13	7	1	6
令和2年度	4	0	6	1	2	0	13	6	3	3

(原因と対応)

- 利用者の高齢化に伴い、転倒事故が増えている。また、他の利用者により倒されることもあり、見守りの徹底を周知。
- 暴力行為4件のうち3件は、興奮した利用者が他人を傷つけたもの。見守りの徹底を図ることで発生を未然に防ぐよう周知。
- その他1件は、利用者が窓に突進してガラスを手で割ったもの。職員に対し「支援する際には常に危機感を持つよう」指導。
- ヒヤリハット事例については、重大な事故につながらないように、再度のマニュアル徹底を指示。

(3) 給食委員会

給食をよりおいしく食べられるよう、献立、味付け、量などについて、委託業者と学園職員が月1回協議の場を設けました。

- ・ 委託業者 「ミント」の職員、栄養士、調理員
- ・ 淡島学園 三牧スマ子（園長）、原田律子（栄養士）、
山崎師郎、柏木多恵、森田真由美（以上、サービス管理責任者）

(4) 防災委員会

火災だけでなく、地震、津波による被害を防ぐため、毎月1回話し合いの場を設けました。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 委員 豊岡正志（防災管理者）、山崎師郎、柏木多恵、原 和男、森田真由美（以上、サービス管理責任者）、吉野輝明、松葉幸子（以上、生活支援員）

(5) 班長会

利用者のサービス向上に向けて、ひまわり班をはじめ5つの班の現状と課題を検討するため、毎月1回開催しました。

- ・ 構成員 三牧スマ子（園長）、山崎師郎、柏木多恵（以上、サービス管理責任者）、
森田真由美（カモト班）、原 和男（ひまわり班）（以上、サビ管兼務）、
吉野輝明（アサヒ班）、黒田真貴子（エール班）、豊岡正志（スマイル班）

3 支援事業実施報告

(1) 生活介護事業

昼間において常に介護を必要とする利用者について、各自の障害の程度や希望を取り入れ、生活班と作業班に分けて個別支援計画を立て、各班独自の支援を行いました。生活班は、基本的な生活習慣である食事、排せつ、清潔、睡眠、衣類の着脱等に主眼を置いて実施。作業班では、利用者の能力に応じた作業訓練を通じて、作業参加による満足感や達成感を味わい、自主性・協調性・勤労意欲を養うことで、社会の一員として活動しているとの認識を持てるよう支援しました。

(2) 施設入所支援事業

夜間における入浴、排せつ、食事等の介護を行い、夜間の生活におけるくつろぎの場を提供し、就眠の確保を図るよう支援。職員は利用者一人ひとりの要望に応じて、常にきめ細やかな支援を行うよう心がけてきました。

(3) 短期入所事業

居宅において介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者等につき、入浴、排せつ、食事の介護、その他必要な支援を行いました。なお、新型コロナウイルス感染拡大の9月、職員の感染が判明した2月には、感染防止の観点から受け入れを中止しました。

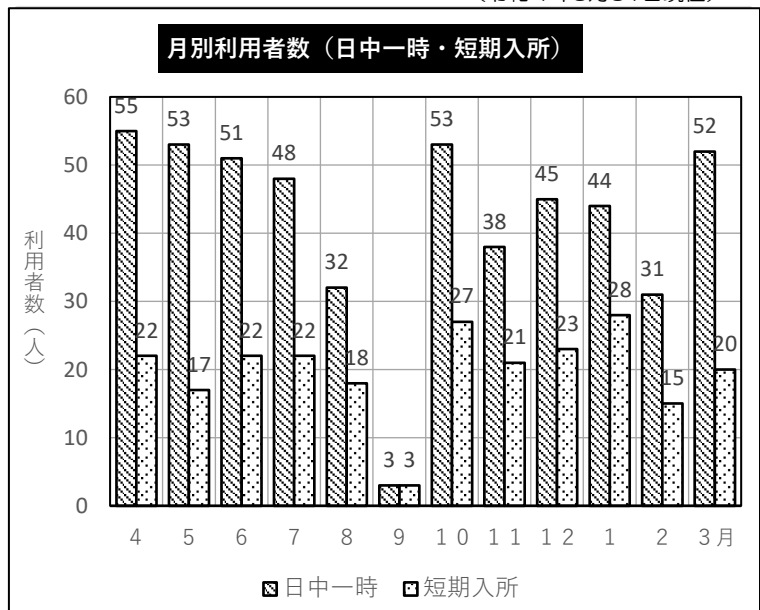
(4) 日中一時支援事業

障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息の時間を提供するため、障害者及び障害児に活動の場を用意し、社会に適応するための日常的な訓練を支援しました。

＜支援区分別利用者の状況＞（ ）内は平均利用者数

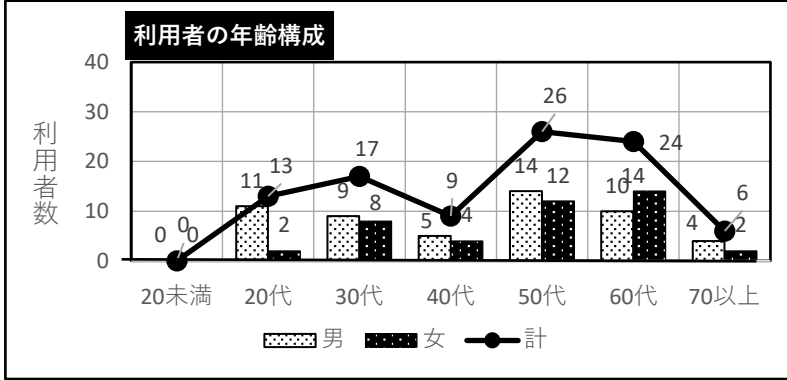
(令和4年3月31日現在)

支援区分		03年度	02年度
生活介護	男	53	53
	女	42	46
	計	95(91.8)	99(92.0)
施設入所支援	男	40	40
	女	35	36
	計	75(75.8)	76(75.9)
短期入所事業	男女延べ人数	238	196
日中一時支援	男女延べ人数	505	471



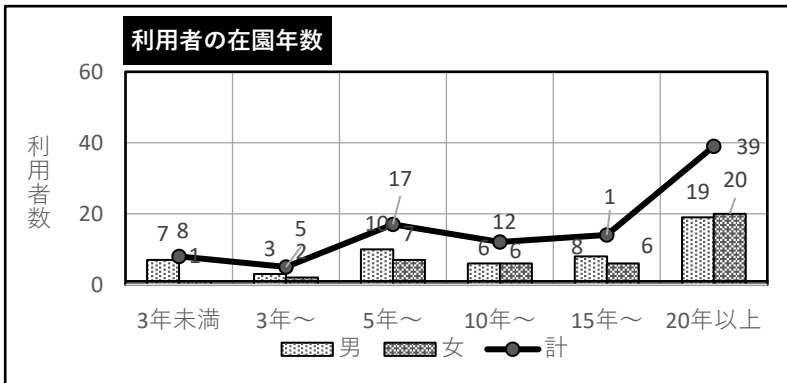
※短期入所は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、9月及び感染者が発生した2月は受け入れを中止した。

<生活介護・利用者の年齢構成・在園年数>



<利用者の年齢構成>

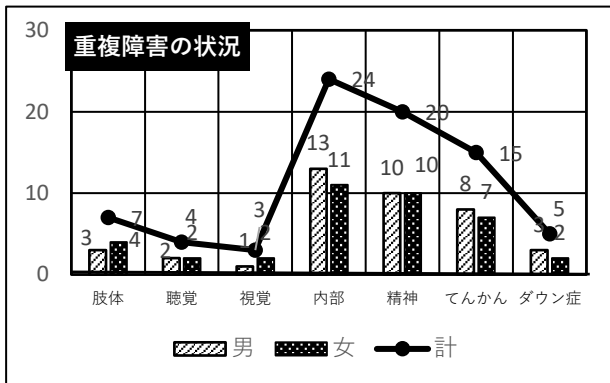
- 最高年齢 90歳
- 最低年齢 20歳
- 平均年齢 50.4歳



<利用者の在園年数>

- 最短は 1年未満
- 最長は 58年
- 平均は 23.5年

<重複障害の状況、障害の程度・区分>



療育手帳			障害支援区分				
程度	男	女	計	区分	男	女	計
A1	26	11	37	6	29	13	42
A2	20	19	39	5	12	15	27
B1	6	10	16	4	11	9	20
精神	0	2	2	3	1	5	6
その他	1	0	1	2	0	0	0
計	53	42	95	計	53	42	95

<生活介護・市町村別利用者の状況>

(令和4年3月31日現在)

令和3年度	市町村別																合計
	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	吉野川市	阿波市	美馬市	上勝町	佐那河内村	神山町	那賀町	美波町	海陽町	北島町	上板町	大阪市	
男	6	1	10	26	1	1	0	0	0	0	2	3	1	1	1	0	53
女	7	0	9	18	0	0	3	1	0	1	2	0	0	0	0	1	42
計	13	1	19	44	1	1	3	1	0	1	4	3	1	1	1	1	95
2年度	13	1	19	46	1	2	3	1	1	1	4	3	1	1	1	1	99

(5) 相談支援事業

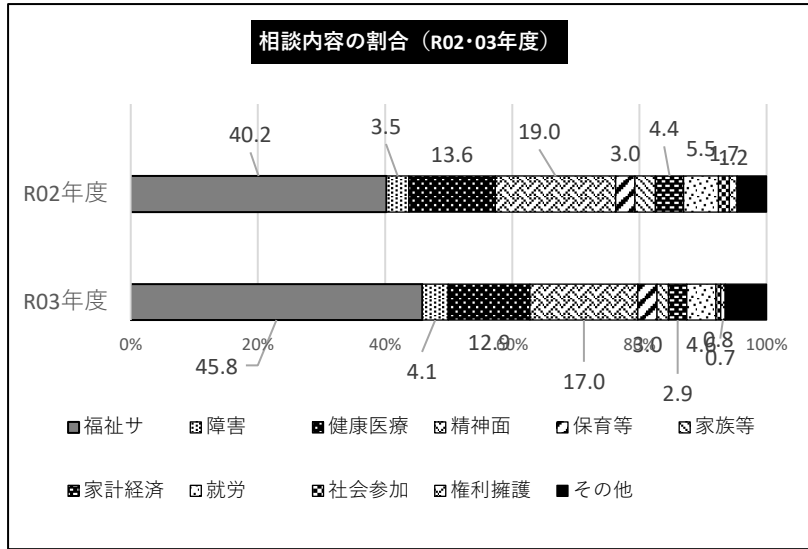
地域の障害者または障害者の保護者からの福祉に関する相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うとともに、これらの者と市町村及び指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整を行いました。また、利用者別のサービス利用計画の作成等も行いました。

＜相談支援の利用状況＞ ()内は令和2年度の状況

市町別	利用者の実人数	
	障害者	障害児
・小松島市	5 (8)	0 (0)
・阿南市	122 (159)	35 (42)
・那賀町	4 (7)	0 (1)
※ 計	131 (174)	35 (43)

＜計画相談の利用状況＞

(単位：人)	3年度	2年度
・障害者	516	462
・障害児	171	99
※ 計	687	561



4 利用者へのサービス提供の状況

(1) 健康管理支援

高齢化に伴う体力の低下とともに疾病が増えることから、年2回の定期健康診断により疾病の早期発見・早期治療に努めました。また、高齢者に対してはそれぞれの健康状態に応じて内科検診のほか、歯科、耳鼻科、皮膚科、眼科等の検診も行うなど、きめ細やかな支援に努めました。

※令和3年度の医療機関受診の延べ人数は、全体で628人(平均8回)／前年度799人(平均11回)

- ・男子248人(平均6回)／前年度339回(平均8回)
- ・女子380人(平均11回)／前年度460人(平均13回)

■入所者の医療機関受診状況				年間の受診状況(人)		
医療機関名		診療科目	所在地	男子	女子	合計
協力医療機関	・村上内科外科医院	内科・外科	阿南市	41	78	119
	・富田病院	精神科	美波町	7	34	41
	・虹の橋養ホスピタル	精神科	徳島市	16	50	66
	・杜のホスピタル	精神科	阿南市	57	28	85
	・神原歯科医院	歯科	〃	10	18	28
	・木下婦人科医院	婦人科	〃	0	0	0
その他	・上村皮膚科	皮膚科	〃	12	21	33
	・阿南医療センター	内科ほか	〃	52	68	120
	・その他			53	83	136
(合計)				248	380	628

■利用者の健康管理等		
実施区分	実施医療機関等	実施状況等
○健康相談	・村上内科外科医院	月1回
○定期健康診断	・村上内科外科医院（4・9月）	年2回
○成人病検診	・木下婦人科医院（4月）	年1回
○レントゲン診断	・とくしま未来健康づくり機構（7月）	年1回
○歯科診療	・歯科医師会口腔検診センター（1月） <small>2月は新型コロナウイルスのため中止</small>	年1回
○インフルエンザ予防接種	・村上内科外科医院（10月）	年1回
○臨床実習・歯磨き指導	・四国歯科衛生士学院専門学校（11月・12月2回）	年3回
○長期投薬者の健康診断	・富田病院、虹の橋葵ホス、杜のホスピタル	随 時
○害虫（ゴキブリ）駆除	・(株)ニッシンテクノス（5・11月）	年2回
○AEDの設置	・自動体外式除細動器	保健室

（2）給食支援

健康管理の面から肥満、高血圧、高コレステロール、糖尿病、痛風、アレルギー等の予防に力を入れ、食事の摂取量や内容、運動量に留意してきました。また、既に病気を持つ利用者には担当医の指示に従い、療養食献立と投薬で回復を図ってきました。

（3）災害対応支援

災害対応の避難訓練は、高齢者や身体障害のある利用者が多いため、昼間だけでなく深夜の発災も想定して実施しました。また、AEDの使用に熟練できるよう全職員を対象にした講習会を行うとともに、テレビや新聞などの災害報道を職員や利用者にも周知することにより、防災意識が高まるよう努めました。

さらに、「防災棟」は、津波や洪水の際に利用者が数日間避難できる場所と備蓄品の置き場、利用者の衣類等の保管庫を備えた災害対応施設として、令和元年11月から供用しています。

（4）保健衛生

常に手洗い、消毒などに留意し、食中毒、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症予防に努め、特に感染が拡大してきた「新型コロナウイルス」感染防止対策として、手指消毒、園舎内消毒、マスク着用、入所者の外泊及び通所による利用の制限などを行いました。（第1編 法人全体の部2p参照）

（5）クラブ活動

習字や絵画の作品は力作が多いことから、展覧会で高い評価が得られました。また、日舞クラブは外部から指導者を招いており、踊りを通じて礼儀作法や集中力を身に付け、心を豊かにすることができました。

（6）環境整備と施設整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓・清潔に努めるとともに、月1回「環境の日」を設け、各所の清掃を実施しました。また、施設・設備が壊れたりしているのを発見した場合、直ちに修理等を行うなど、利用者が安心して心地よい生活ができるよう努めました。（第1編 法人全体の部の3p「施設・設備の整備状況」を参照）

(7) 職員の資質向上

生活介護と入所支援の必要な知識や技能を身につけ、障害の特徴と留意すべきことを理解し、援助に必要な知識や技能を具体的に捉えるなど、人的資源の提供に努めました。

また、支援担当職員の資質向上に向けては、月1回の施設内研修に加えて、外部の研修会への参加を促進するなど、援助に必要な知識や技能が高められるよう努めるとともに、社会福祉士の資格取得費用の半額を補助することで有資格者が増えるよう努めました。

※学園の有資格者は社会福祉士6名、精神保健福祉士3名。

■施設内研修			
月	研 修 内 容	講師（事例発表者）	参加者
4	防災機器関連の取扱い	防火管理者	34
5	人権尊重（生活支援の在り方）	サービス管理責任者（柏木）	37
6	交通安全講習	阿南市市民生活課・木村補佐	41
7	感染予防について	阿南医療センター・原崎友香氏	35
8	火災想定避難訓練	防災担当（豊岡）	29
	消火訓練・通報訓練・防災機器説明	防災担当（豊岡）	35
9	新型コロナ禍における震災発生時の対応など	県南部県民局保健福祉環境部	39
	起震車を使った大地震の体験	県南部県民局地域創生防災部	18
10	AEDを使った心肺蘇生法の実技	県南部県民局保健福祉環境部	20
11	心肺蘇生法とAEDの使用について	県南部県民局保健福祉環境部	40
12	強度行動障害のある利用者の支援（WEB）	鹿児島国際大学・永富教授	29
1	共済会の退職手当金に係る制度見直し	事務所（数藤）	34
2	賃金改善手当での創設について	事務所（数藤）	38
3	来年度に向けての見直し	サービス管理責任者（柏木）	29

(458)

■施設外研修			
月	研 修 内 容	出 席 者	延べ人数
4	対人援助職のための接遇研修（27日/WEB）	生活支援員	1
5	福祉協生活支援部会（10日/WEB）	〃	1
	チームリーダー研修（13日/WEB）	〃	1
6	中堅職員ファーストスラップ研修（8日/WEB）	〃	1
	対人援助職のためのコミュニケーション研修（10日/WEB）	〃	1
7	南部地域障がい者就業・生活支援ネット研修会（8日/WEB）	相談支援専門員	1
8	管内集団給食施設協議会研修会（5日/WEB）	生活支援員	1
	相談支援専門員協会研修会（7日/藍住町総合文化ホール）	相談支援専門員	1
	阿南市特別支援連絡協「夏の研修会」（17日/WEB）	〃	1
	相談支援従事者研修（現任）（20～27日のうち6時間/WEB）	生活支援員	3
	共感を得ることは講座（26日/WEB）	〃	1
9	チームリーダーのためのステップアップ研修（8日/WEB）	〃	1
	相談支援従事者研修（現任）（10日/WEB）	〃	3
	集団給食施設協議会研修会（13日/WEB）	サービス管理責任者	1
	相談支援従事者研修（現任）（13日～/実習先）	生活支援員	3
	福祉協生活支援部会（28日/WEB）	〃	1

(前頁からの続き)

月	研 修 内 容	出 席 者	延べ 人数
10	社会福祉法人の新型コロナのBCP研修①(4日/WEB)	サビ管・生活支援員	2
	福祉職場のリスクマネジメント研修(6日/WEB)	生活支援員	1
	ソーシャルワーク連絡会講演会(7日/ひまわり会館)	相談支援専門員	1
	障がいのある人の自己決定とその支援研修(21日/WEB)	生活支援員	1
	新任職員研修(22日/WEB)	//	1
	福祉協総務部会(26日/WEB)	事務所	1
	記録の書き方研修(28日/WEB)	生活支援員	1
	職場内研修担当者養成研修(29日/WEB)	//	1
	南部圏域健康危機管理関係職員研修会(29日/阿南保健所)	看護師	1
11	強度行動障がい支援者養成研修(基礎)(5日/WEB)	生活支援員	1
	介護福祉士会実習指導者講習会①~③(6・13・23日/健祥会)	//	3
	介護支援専門員等関係職員研修会(12日/小松島市総合福祉センター)	相談支援専門員	2
	社会福祉法人の新型コロナのBCP研修②(15日/WEB)	サビ管・生活支援員	2
	集団給食施設協研修会(17日/WEB)	栄養士	1
	相談支援従事者研修(現任)(19日/総合教育センター)	生活支援員	3
	相談支援従事者研修(現任)(22日~/支援協)	//	3
	BCPモデル事業研修会(22日/WEB)	生活支援員	1
	相談支援・就業支援セミナー(25日/WEB)	相談支援専門員	1
権利擁護専門研修(29日/WEB)	サービス管理責任者	1	
12	強度行動障がい支援者養成研修(実践)(2・3日/WEB)	生活支援員	2
	介護福祉士会実習指導者講習会④(4日/健祥会)	//	1
	集団給食施設協研修会(8日/WEB)	栄養士	1
	福祉職に必要な法律講座(9日/WEB)	生活支援員	1
	四国地区障害関係職員研修会(10日/WEB)	//	1
	人材定着セミナー(21日/WEB)	事務所	1
1	相談支援従事者研修(現任)(14日/総合福祉センター)	生活支援員	3
	中四国ブロック災害支援セミナー(17日/WEB)	事務所	1
	権利擁護研修会(18日/WEB)	生活支援員	1
	医療的ケア児等コーディネータ養成研修①(19~21日/WEB)	//	3
	社会福祉法人の法令遵守研修会(26日/WEB)	事務所	1
	全国知的障害者福祉関係職員研究大会(27・28日/WEB)	生活支援員	2
	管理職研修(31日/WEB)	園長	1
2	医療的ケア児等コーディネータ養成研修②(15~17日/WEB)	生活支援員	3
	経営協セミナー(10日/WEB)	事務所	1
	福祉協生活支援部会(14日/WEB)	生活支援員	1
3	集団給食施設協研修会(1日/WEB)	栄養士	1
	個別避難計画作成モデル事業研修会(9日/WEB)	生活支援員	1
	福祉協総務部会(15日/WEB)	事務所	1

年間の研修等受講者の延べ人数→ (77)

※前年度の延べ受講者数は48人

5 利用者の作業支援の状況

(各班の人数は令和4年3月31日現在)

新型コロナ感染防止対策として、令和2年9月から通所者だけの「スマイル班」を編成。園芸班とソーイング班の入所者を合わせて「エール班」として再編しており、3年度も引き続き同じ体制をとっています。

(1) ひまわり班 (20名/男9名・女11名)

身体の保持と情緒の安定を図り、基本的な生活習慣の確立及び身体各部の機能訓練を行い、心と体の調和した発達を支援。特に、個々の能力を把握し、障害の程度に応じた機能訓練及び基本的な生活習慣を重点に支援しました。また、各種運動を取り入れ、体力づくりと機能低下防止に努めてもらいました。

(2) スマイル班 (21名/男13名・女8名)

新型コロナの感染拡大防止を目的として、令和2年9月から通所者を「スマイル班」に集約。作業室への出入口及び昼食場所については入所者と分離し、できるだけ接触がないようにしました。通所者を一つの班に集約したため、個々の能力に応じた作業訓練メニューをつくり、自主性や協調性を身につけられるよう支援しました。

(3) アサヒ班 (18名/男12名・女6名)

作業を通じて意欲や根気強さを養い、作業に対する喜びを知ってもらうとともに、他の利用者との協調性を図り、責任感を持ってもらえるようにしました。また、生活支援を通じて清潔感を醸成し、規則正しい生活習慣を身につけてもらえるように努めました。さらに、各種運動を取り入れ、明るく健康で素直な精神と体力が養われるよう支援しました。

(4) エール班 (20名/男8名・女12名)

園芸の部門では、作業を行う際、個々の能力にあった役割を分担し、作業意欲や安定性、確実性の醸成とともに興味や自信を持ち、楽しく作業に参加できるよう支援しました。ソーイング部門では、手芸品などの制作を通じて、ものづくりの喜びと楽しさを知り、協調性や責任感を持てるよう支援しました。そして、商品として社会の中で流通するという認識を持つことで、ものを大切にするという気持ちを持ってもらうとともに、作業への参加が社会経済活動であると認識できるよう努めました。

また、地域住民との交流を通じて社会性が向上するよう、清掃活動やボランティア活動への参加を促進するとともに、洗濯作業を通じて清潔感を養い、生活のスキルが高まるよう支援しました。

(5) カモト班 (16名/男11名・女5名)

作業を通じて意欲や根気強さを養い、作業に対する喜びや他の利用者との協調することの大切さを知り、責任感を持てるよう支援しました。また、生活支援を通じて清潔感を醸成し、規則正しい生活習慣が身につくようにしました。さらに、各種運動を取り入れ、明るく健康で素直な精神と体力が持てるよう支援しました。

6 利用者の活動状況

(1) 利用者の日課

利用者の日課表		
	平 日	土 日 祝 日
07:00	起床・洗顔	起床・洗顔
07:15	手洗い、朝食準備	手洗い、朝食準備
07:30	朝食、終了後自由時間	朝食、終了後自由時間
08:30	ホームルーム、検温	08:30~10:00 朝会、体温・血圧測定 (日曜)洗面用具の点検消毒など
08:45	職員朝会	
09:00	利用者朝会	
09:10	モーニングウォーク	
09:30	清掃、人数確認、洗顔、歯磨き、検温 班別支援(作業)、保健衛生、血圧測定	10:00 ティータイム 自由時間(買物実習)
11:50	手洗い・昼食準備	手洗い・昼食準備
12:00	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	班別支援(作業)、検温、入浴	自由時間(買物実習)、検温
15:00	体操、ジュース、班別支援(作業)、検温	ティータイム、自由時間
16:00	居室の清掃	居室の清掃、自由時間
16:30	ホームルーム、自由時間	
16:45	手洗い・夕食準備	手洗い・夕食準備
17:00	夕食、終了後自由時間	夕食、終了後自由時間
17:30	自由時間	自由時間
19:00	検温	検温
21:00	就寝準備	就寝準備
22:00	就寝	就寝

※入浴は、男女とも、6月～9月は月・火・水・金、10月～5月は月・水・金に実施。なお、必要な場合は適宜実施。原則として、大浴場の入浴は13時から女子、14時から男子が使用。

(2) 年間の活動状況

参加者数欄の()は引率職員の数

	行 事 区 分			
	学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)	参加者数	スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	参加者数
■4月				
○ひまわり班ピクニック(8日/岩脇公園)	19名(7)			
○スマイル班ピクニック(13日/美波町)	12名(5)			
○アサヒ班ピクニック(15日/竜宮公園)	19名(7)			
○エール班ピクニック(20日/竜宮公園)	20名(6)			
○カモト班ピクニック(22日/竜宮公園)	16名(4)			
○春の定期健康診断(5~23日/村上内科)	94名			
■5月				
○ひまわり班行楽(18日/西部公園)	19名(5)	○春の健康ウォーク(12日/雨天中止)		
○バースデープレゼント(18日/園内)	7名			
○害虫駆除食事会(20日/園内)	81名(36)			
○新型コロナ集団接種①(20日/高齢者)	20名			
○テイクアウト食①マック(25日/園内)	20名(2)			
○テイクアウト食②コマダ(28日/園内)	18名(2)			
○テイクアウト食③軽食(31日/園内)	14名(2)			

(前頁からの続き)

参加者数欄の()は引率職員の数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	
	参加者数		参加者数
○新型コロナ集団接種①(20日/高齢者)	20名		
○テイクアウト食①マック(25日/園内)	20名(2)		
○テイクアウト食②コメダ(28日/園内)	18名(2)		
○テイクアウト食③軽食(31日/園内)	14名(2)		
■6月			
○アサヒ班午後のお茶会(7日/園内)	19名(7)	●クリーン活動(3日/淡島海岸)	19名(6)
○カモト班午後のお茶会(7日/園内)	16名(4)		
○スマイル班午後のお茶会(8日/園内)	12名(6)		
○バースデープレゼント(9日/園内)	6名		
○新型コロナ集団接種②(10日/高齢者)	20名		
○エール班午後のお茶会(11日/園内)	20名(6)		
○ひまわり班午後のお茶会(14日/園内)	19名(7)		
○各班ミニシアター(15~17日/園内)	86名		
○新型コロナ集団接種①(17日/その他)	49名		
■7月			
○スマイル班楽しむ行事(5日/園内)	12名(6)	●作品展見学(9日/那賀川図書館)	15名(3)
○テイクアウト食①マック(6日/園内)	21名(2)	○オンラインスポーツ(20日/園内)	25名(4)
○新型コロナ集団接種②(8日/その他)	50名		
○アサヒ班行楽(9日/勝浦)	19名(7)		
○ひまわり班楽しむ行事(14日/園内)	19名(7)		
○アサヒ班楽しむ行事(14日/園内)	19名(7)		
○カモト班楽しむ行事(15日/園内)	16名(4)		
○エール班楽しむ行事(16日/園内)	20名(6)		
○テイクアウト食②ピザ(20日/園内)	17名(2)		
○テイクアウト食③寿司(27日/園内)	19名(2)		
■8月			
○納涼祭(3日/園内)	86名	○オンラインスポーツ(11日/園内)	25名(4)
○エール班午後のお茶会(20日/園内)	20名(4)		
○カモト午後のお茶会(20日/園内)	16名(7)		
○スマイル班午後のお茶会(23日/園内)	13名(4)		
○ひまわり班午後のお茶会(31日/園内)	20名(7)		
■9月			
○秋の定期健康診断(1~22日/村上内科)	91名	○オンラインスポーツ(8日/園内)	25名(4)
○お月見会(9日/園内)	86名		
○カモト班行楽(16日/竜宮公園)	15名(4)		
○テイクアウト食①カレー(17日/園内)	23名(3)		
○起震車体験(24日/園庭)	33名(18)		
○テイクアウト食②うどん他(24日/園内)	15名(3)		
○テイクアウト食③弁当(27日/園内)	19名(3)		
○還暦を祝う会(29日/園内)	対象者2名		
■10月			
○カモト班午後のお茶会(1日/園内)	15名(4)	●エナジー見学(7日/文化の森)	15名(3)
○ひまわり班午後のお茶会(8日/園内)	19名(7)	●クリーン活動(8日/淡島海岸)	16名(6)
○エール班午後のお茶会(15日/園内)	20名(6)	○オンラインスポーツ(10日/園内)	25名(4)
○スマイル班午後のお茶会(18日/園内)	17名(6)		

(前頁からの続き)

参加者数欄の()は引率職員の数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	
	参加者数		参加者数
○エール班行楽(21日/鷺の里)	20名(6)		
○アサヒ班午後のお茶会(26日/園内)	19名(7)		
○ミニ運動会(28日/園庭)	89名(34)		
○インフルエンザ予防接種(28日/園内)	97名(48)		
■11月			
○創立65周年記念式(9日/体育館)	90名(38)	○オンラインスポーツ(20日/園内)	25名(4)
○テイクアウト食①洋食(10日/園内)	15名(2)		
○害虫駆除食事会(11日/園内)	84名(31)		
○テイクアウト食②寿司(17日/園内)	14名(2)		
○秋祭り(18日/園内)	89名(7)		
○テイクアウト食③洋食(22日/園内)	13名(2)		
○テイクアウト食④洋食(30日/園内)	16名(2)		
■12月			
○淡島ショッピング(9日/体育館)	89名(5)	○オンラインスポーツ(8日/園内)	25名(4)
○スマイル班午後のお茶会(9日/園内)	14名(3)	●四電青年部慰問のため来園(20日)	
○ひまわり班午後のお茶会(13日/園内)	19名(7)		
○冬祭り(14日/体育館)	89名(7)		
○エール班午後のお茶会(17日/園内)	19名(5)		
○年末大掃除(17・21日/園内)			
○クリスマス会(23日/体育館)	89名(7)		
○アサヒ班午後のお茶会(24日/園内)	17名(7)		
○カモト班午後のお茶会(28日/園内)	15名(4)		
■1月			
○初詣(1日/那賀川・八幡神社)	10名(2)	○オンラインスポーツ(12日/園内)	25名(4)
○テイクアウト食①マック(6日/園内)	19名(3)		
○成人を祝う会(9日/体育館)	対象者1名		
○テイクアウト食②ピザ(21日/園内)	17名(3)		
○テイクアウト食③寿司(25日/園内)	18名(3)		
■2月			
○ひまわり班午後のお茶会(15日/園内)	19名(7)		
○エール班午後のお茶会(18日/園内)	19名(5)		
○アサヒ班午後のお茶会(18日/園内)	17名(7)		
○スマイル班午後のお茶会(22日/園内)	14名(5)		
○カモト班午後のお茶会(28日/園内)	15名(4)		
■3月			
○淡島祭(8日/園内)	90名(30)	○モーニングウォーク大会(28日/園周辺)	87名(37)
○テイクアウト食①すき家(3日/園内)	12名(3)		
○テイクアウト食②お好み焼(18日/園内)	23名(3)		
○テイクアウト食③マック(22日/園内)	20名(3)		
○送別会(31日/学園内)	退職者1名		

※上記のほか、学園内でHappy体操(毎月3回)、絵画教室(毎月2回)、書道教室(毎月2回)、日舞(月2回)、利用者の散髪(年6回)を実施。(新型コロナウイルス感染拡大期には延期・中止等あり)

7 学園創立65周年記念事業

淡島学園は、昭和31（1956）年11月に精神薄弱児施設として開設されました。その後、障害者支援施設となり、令和3（2021）年11月21日に創立65年を迎えました。コロナ禍にあって、少しでも明るい話題が提供できるよう「創立65周年記念事業」を実施しました。

① 学園のロゴマークを制定

コンセプトは、自然豊かな風景と赤い屋根をモチーフに、誰もが親しみやすく、かわいいデザインを基調として明るい基調でまとめました。

※デザインは、石井町のアントデザイン事務所の島川文代さんの作品



② 利用者支援の用に供する備品整備

- ワンタッチ式テント一式
- ワイヤレスアンプ一式



③ 透明水彩画の受贈

徳島市在住の山内茂昭氏から、学園園舎を描いた透明水彩画の寄贈を受けました。



④ 創立65周年記念式

令和3年11月9日（火）、スポーツホールにて利用者と職員が集い、創立65周年を祝いました。



